

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公開番号】特開2009-293304(P2009-293304A)

【公開日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-050

【出願番号】特願2008-148973(P2008-148973)

【国際特許分類】

E 05 F 7/00 (2006.01)

E 06 B 3/48 (2006.01)

【F I】

E 05 F 7/00 B

E 06 B 3/48

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月24日(2010.2.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

左右戸板(11, 12)を有する折戸(10)に取り付けるための指詰め防止装置(40)であって、

(i) 左右羽根板(21, 22)と、前記左右羽根板を回動自在に結合させる軸ピン(25)と、前記軸ピンを支える軸受(26)とからなる蝶番(20)と、

(ii) 前記左右戸板(11, 12)の隙間(17)をふさぐ形状の遮蔽カバー(43)と、

、  
(iii) 前記蝶番(20)と前記遮蔽カバー(43)を連結する連結棒(41)とを有することを特徴とする折戸の指詰め防止装置。

【請求項2】

前記連結棒(41)の頭部(41b)から前記折戸(10)の外側に向かって2本の開脚バネ(45, 46)が延びており、この開脚バネ(45, 46)の先端が前記蝶番(20)に設けられた突起(47, 48)に差し込まれて固定されている請求項1記載の装置。

【請求項3】

前記遮蔽カバー(43)が左右戸板(11, 12)の隙間(17)を移動する延長部(44)を有する請求項1又は2記載の装置。

【請求項4】

折戸閉鎖位置への移動強制装置をさらに有する請求項1ないし3の何れかに記載の装置。

【請求項5】

前記羽根板の蛇行調整装置をさらに有する請求項1ないし4の何れかに記載の装置。

【請求項6】

請求項1～5の何れかに記載の指詰め防止装置を取り付けた左右戸板(11, 12)からなる折戸(10)。

【請求項7】

前記左右戸板(11, 12)の遮蔽カバー(43)取付位置に切り込み(15, 16)

が設けられている請求項 6 記載の折戸（10）。